

## 熊本県地域障がい児支援体制のためのICT化導入に係る効果報告書

令和7年度に放課後デイサービス「のびのびハウス」と児童発達支援センター「きらり」にICT導入を実施しました。

### 1 概要及び効果

#### 【のびのびハウス】

- ・無線LANアクセスポイントを3台設置、ノートパソコンを2台設置し、これまで1か所でYouTube等の動画を鑑賞していたものを各部屋（療育実施）で少人数で鑑賞できるようになりました。利用者同士のトラブルも減少し、感染症対策にも効果があった。
- ・パソコン導入により職員が療育の部屋でスケジュール管理やデータ管理ができるようになった。効果として情報共有が密になり事務作業も効率的になった。

#### 【きらり】

- ・タブレットや編集動画ソフトを導入することにより、保護者とのLINEの創設、連絡帳のアプリ化を実施できるようになった。効果として保護者との連絡調整や利用者の状況を的確に伝えることが出来るようになった。また保護者との連絡不十分によるその後の職員対応の負担軽減も図れた。
- ・保護者に対し、利用者の状態を正確かつ的確に伝えることは難しいため、利用者の動画を見せることにより正しく伝えることができた。効果として保護者との意見の相違も少なくなり、信頼関係も深めることができた。